



レインボーネット Rainbow Net

れいんぼーTopics

グループホーム
「ひまわり」

が開設！



社会状況から、これまで以上にコロナウイルス感染防止対策が迫られています。レインボーネットで計画しているイベントについても見通しが見つからない状況が続いていますが、そのなか、明るいニュースが飛び込んできました。表紙の写真は、障がい者生活援助グループホーム「ひまわり」さんです。新たな社会資源が宮古圏域に加わることになりました。代表の阿部徳人さんより「障がいのある方々へより良い地域生活を提供し、宮古圏域の障がい福祉の分野に貢献していきたい」という力強いコメントをいただきました。精神科病院や入所施設からの地域移行の推進が叫ばれているなか、受け手として大きな役割が期待されます。（担当：レインボーネット高屋敷）

目次 CONTENTS

● れいんぼーTopics 1	● 令和2年度事業報告・決算 7
● 新年度にあたって 2~3	● 令和3年度事業計画・予算 8
● Report!「福祉の現場から」 4	● はあとふるVoice (当事者の声)・新任職員紹介 9
● 受託事業 pick up! 基幹相談支援センターの取り組み 5	● なんでもKEIJIBAN、編集後記 10
● こんにちは、「地域活動支援センターみやこ」です! 6	

特集

事務局長バトントンタツチ
「レインボーネットのこれまでとこれから」

令和3年3月31日をもって盛合一男前事務局長が退任し、後任に戸田忍新事務局長が就任しました。新旧事務局長から「レインボーネットのこれまでとこれから」についてインタビューした内容を特集としてお届けいたします。

Q：まずは、盛合前事務局長へ7年間お疲れ様でした。振り返ってみていかがでしたでしょうか。

盛合前局長：改めて7年を振り返る機会をいただき、ありがとうございます。



ございました。大変なこともありましたが、それも今となれば懐かしい思い出となっています。今日はその中の何点かお話ししたいと思います。まず、就任時のことです。平成26年に事務局長として就任しましたが、その時の職員体制は、会長も含め13名で、そのうち相談支援専門員は前年度から2名減の6名でのスタートでした。当時は、総合支援法等の改正があり、次年度以降、福祉サービスを利用する全ての方に、サービス等利用計画を作成することが必須になり、当該年度は重要な準備期間でしたので、相談支援専門員への負担が増え非常に厳しい状況だったことを憶えています。現在、職員数は17名で、相談支援専門員も11名となっており感慨深いがあります。

会長の交代もありました。平成27年度は役員改選の年で、前会長

の辞意の申し出を受け、後任の会長をどなたにお願いするかなどの調整も含め、慌ただしく動いた記憶があります。また同時期に当時、事務局次長だった加藤伸二さんの異動がありました。加藤次長は、任意団体の時からの職員だったので、次年度からの事業をどのように進めていったら良いのか苦慮したことを憶えています。一度、障害者差別解消支援地域協議会の設置について、圏域で本格的に協議しようとしていた時でもあり大変でしたが、次に事務局次長になられた五十嵐純子さんが一緒に頑張ってくれて何とか乗り切ることができました。

最後になりますが、法人設立10周年記念式典等についてです。職員の誰も経験したことがないことだったことから、実行委員会を作って協議を重ね、平成30年6月に実

施することができました。当日は想定外のハプニングがあったものの、何とか無事に終えることができ、次の10年に繋げることができたものと思っています。

その他にも、報酬改定等もあり経営面の舵取りも大変でしたが、事務員の方々の苦労はもっと大変だったものと思っています。そんな中でも、職場の雰囲気は非常に良く、苦しい状況にあっても、それをみんなで乗り越えていこうというチームワークの良い職場で



したね。次長を始め職員の皆様へ感謝です。振り返ってみますとそのようなことが思い出されます。

Q・戸田新局長にお聞きします。就任され1ヶ月が経過しますが感想などお聞かせください。

戸田新局長…まずは、職員の方々にやさしくしてもらっています。3月に38年間勤めた宮古市役所を退職し、まったく知らないこの世界に飛び込んだという心境ですが、先日、宮古圏域の福祉事業所にあいさつに回らせていただきまして、いろいろな事業所があることを知りました。これから、この分野について覚えなければならぬことの多さを感じています。今はまだ何をやっているのかわからない状態で、用語もまだよくわかりません。もう少し勉強してきて知識を前もって理解できて就任すればよかったですという思いが、この1ヶ月の感想です。

盛合前局長…私も同じようなものでした。思い返すと宮古市役所時代にはレインボーネットのことは知っていましたが、これほどの事業をやっているとは思っていませんでした。最初は大変だと思いましたが、徐々に慣れて面白くなってきましたから頑張ってください(笑) Q・レインボーネットはこれからも続いていきます。今後にもむけての

期待をお聞かせください。

盛合前局長…障がい福祉サービスは大きく分けると、自立支援給付と地域生活支援事業に分けられますが、そのうち、地域生活支援事業の一部については、レインボーネットが沿岸4市町村から委託を受けて実施しており、大きな役割を果たしています。例えば、市町村の必須事業である相談支援事業や普及啓発、地域活動支援センター事業などです。コロナ禍で従来通りの活動が難しいとは思いますが、創意工夫を重ねて充実した事業を実施していくことを期待しています。

また、地域の相談支援の中核を担うことも大きな役割です。特に、今年度は、地域生活支援拠点整備される予定ですが、そのためには、さらなるネットワークの強化と24時間の相談体制という課題もあります。次年度の体制が大きく変わることが予想されますが、障がい福祉分野の中核としてリーダーシップを発揮していただき、圏域全体の支援力の向上を図っていくことを期待しています。

Q・ではパトロンを受け継ぐ、戸田新事務局長からもお願い致します。

戸田新事務局長…レインボーネットは職場が元気で明るいし、毎日緊張の連続の私にとって、その雰囲気

気に助けられています。相談支援専門員の皆さんは、総じて良い意味で会話が上手です。また、宮古圏域は、他の地域と比較して障がい福祉の環境が充実しており、レインボーネットも職員の数や質など充実していると思います。ちょっと調べたのですが、相談支援専門員は全国に約1万9千人いるとのこと。人口で割り返すと、宮古圏域の相談支援専門員が12人いることになる。一方で、レインボーネットには相談支援専門員が11人も配置されています。いかに、この団体に相談支援専門員の数が多いか、また集中しているかが数字を見てわかりました。このことは、円滑な情報共有が図られること、また職員の経験値が全体の技術向上につながることを意味すると思えますし、ひいては利用者の方々にとって正しい支援に向かっていく力になるものと思います。

今後その環境を維持しながら障がい者本人や家族へのサポートや福祉事業所間のネットワークをさらに強化していきたいと思っています。その成

果を外へさらに発信することにも必要であると感じています。

盛合前事務局長、戸田新局長、今日は貴重な時間をいただきありがとうございます。最後に、お二人で握手している写真を撮らせていただきインタビューを終了させていただきます。盛合前事務局長へ改めまして7年間お疲れ様でした。



Report! 「福祉の現場から」

Report

主任相談支援専門員研修を終えて

主任相談支援専門員 佐々木 大介

五日間にわたり盛岡市で実施された『令和2年度東北ブロック障がい者相談支援従事者主任研修』に参加してきました。コロナ禍において、国の研修を県内で受講できたことは個人的に有り難く、企画していただいたスタッフの方々に対してこの場をお借りして感謝申し上げます。



研修の様子

研修初日、主任相談支援専門員については、『事業所や地域において指導的役割を担う』『相談支援の中核的な人材』『相談支援の質の確保を図る役割』が期待されるとの話があり、事の重大さを実感すると同時に、はたして私に務まるものなのか不安になりました。

私にとって不安の残るまま講義は進んでいきましたが、その過程において実は、自分が普段実践している相談支援の延長なのではないかと気づかされ、違う言い方をすれば、普段は意識しないまま相談支援を実践してきたのではないかと気づかされました。

今回の研修において受講した内容は多岐にわたっていて、その全てを紹介する訳にはいかないのですが、今後、自分なりに解釈し、自分なりにアレンジしたものをいくつか実践してみようと思っています。

スーパービジョンにおいて主任相談支援専門員としての視点だけでなく、いち相談支援専門員としての視点をも併せ持つことも可能なのではないかと思いますし、また、計画的な人材育成と人材確保については、どの事業所でも課題だと思うので、いろいろ



ろな実践例を参考にしながらも独自の取り組みがあっても良いのかなと考えているところです。

できるところから実践をして、メリットや場合によってはデメリットなど、基幹相談支援センターの主任相談支援専門員として事業所や地域、そして相談支援専門員などの人材育成に還元していきたいと思っております。

受託事業から P-RICKUP!・P-RICKMAP

基幹相談支援センターの取り組み

相談支援専門員 澤田 勝

レインボーネットにおける
地域移行支援のあゆみ

地域移行支援は基幹相談支援センターの重要な役割のひとつです。宮古圏域では、岩手県の委託事業である精神障がい者地域生活支援広域調整会議（以下、地域委員会とします）の中で、宮古圏域自立支援協議会の専門部会「精神保健部会」と連動し地域移行に取り組んできました。

まず、はじめに下記の表をご覧ください。過去3年の地域移行者数の実績です。毎年5名前後の方が地域移行されています。昨年に至っては、宮古圏域内精神科病院の地域移行機能強化病棟の開設などもあり、例年以上に地域移行者を支援し退院することができました。

地域移行に係る対象者の選定については、各精神科病院並びに入所施設から地域生活の希望者を提出していただきます。その候補者を地域委員会で協議し承認された方を対象者とし、宿泊型自立訓練事業所や共同生活援助事業所の動向（空き状況）の確認と、アセスメントを経て支援を開始します。もちろん、対象者の希望を最優先することは言うま

でもありません。次に地域移行支援事業の支給決定手順ですが、計画相談の手続きを経て、地域相談（一般相談）の契約と地域移行支援のための個別支援計画書の作成へと進みます。精神科病院などからの外出や宿泊体験時に相談支援専門員が付き添うなどアウトリーチができるのが地域移行支援の大きな特徴のひとつです。この地域移行支援を実施するには、相談支援事業所の支援力が重要になります。レインボーネットでは相談支援専門員が11名おり、それぞれが地域移行支援を担当することができま。レインボーネットの全体のチーム力が、多くの地域移行希望者の支援につながっているとはいえ、今後も地域移行希望者を支援していくため、この体制の維持は欠かせません。

最後に、これまで協力いただいた各事業者や関係者のみなさまへ、本事業の推進にご協力いただき本当に感謝申し上げます。みなさんの協力なくして地域移行支援は成立しませんでした。今後も、宮古圏域における福祉サービスの充実や社会資源の開拓などを行い、この事業を利用し地域社会で暮らすことが普通の姿になるよう努力していきたいと考えております。

レインボーネットにおける福祉施設及び精神科病院からの地域移行の状況

市町村	施設				精神科病院				合計
	30年度	元年度	2年度	計	30年度	元年度	2年度	計	
宮古市	2	1	3	6	3	3	3	9	15
山田町	1	0	0	1	0	1	3	4	5
岩泉町	1	0	1	2	0	0	0	0	2
田野畑村	0	0	0	0	1	0	0	1	1
圏域外	0	0	1	1	0	0	1	1	2
合計	4	1	5	10	4	4	7	15	25

※第5期宮古圏域障がい福祉計画（平成30年～令和2年）の地域生活移行者の目標値は、宮古圏域19人でしたが、目標値を6名上回ることができました。

こんにちは、「地域活動支援センターみやこ」です!



「地域活動支援センターみやこ」では、障がい者等(身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児及び難病等)を対象に、自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上、社会との交流の促進を目的に、創作的な活動、SST(社会生活技能訓練)・ピアカウンセリング等の活動、各種サークル活動を行っています。また、専門の職員を配置し、医療・福祉および地域の社会基盤との連携強化のための調整、ボランティアの育成、障がいに対する理解促進を図るための普及啓発事業を実施しています。

新年度の活動が順調にスタート!

〜感染対策の意識を高めながら〜

昨年度は感染症の拡大状況により、やむを得ず活動中止とする期間があるなど、地活利用の皆さまにはご不便をおかけしました。その都度、スタッフで協議を重ねて、「今できること」に取り組んできたところです。

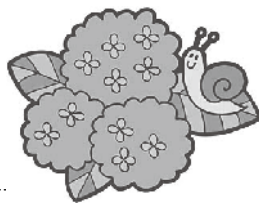
参加員設定や飲食を伴う活動の取りやめなど、必要な制限がある中でメニューにはなりますが、「少しでも楽しく過ごしていただきたい」との想いで活動提供してまいります。

今年度の新たな取り組み

「トンボの会」

これまでの料理教室は取り止め、外部講師をお招きするなどして『軽運動』と『創作活動』の二種を、多様なメニューで実施します。

初回となる4月の創作活動では「書道」に取り組み、一枚仕上げるごとに上達を感じられる楽しいひと時でした。



「土曜の会」

一般就労を目指す方々を対象に、スキルアップに繋がる学習の機会を提供します。

福祉に関する内容はもちろんですが、外部講師を活用し、金銭管理や「ミニユニケーション」、

法話やスマホとの付き合い方など、幅広い

学習を計画しています。



地活の感染対策

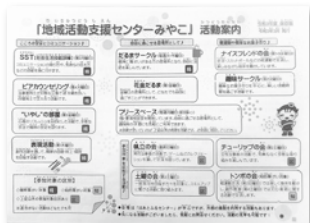
- センター内の活動定員は5名
- 活動室にアクリル板設置
- マスク着用、検温と消毒の徹底
- 飲食を伴う活動の取り止め

※今後の感染拡大状況によっては、予定の活動を中止することもあります。

「地域活動支援センターみやこ」活動案内を発行しました!

活動毎の詳しい内容を記載しています。障がい種別によって参加対象を分けている活動もありますので、参考にしてください。

毎月発行する「地活だより」と併せて参考にしてくださいね!



はあとふるギャラリー

【趣味サークル】

チョコチップ入りのカップケーキ作りは、和気あいあいと進行♪楽しい時間でした(*^_^*)



【“いやし”の部屋】

「お祭りみたいだね」と言いながらの焼きそば作り! ソースの香りに癒されました!

【サテライト活動】

センターでの参加が難しい、遠方の地域に出向きます。スクラッチアートは集中できますね♪



【トンボの会(創作)】

初回の活動は書道でした! うまく書けたかな? 墨の香りも心地よく、落ち着いた時間でした(#^_^#)

※いずれも会食せず、出来上りを持ち帰っています

令和2年度 事業報告・決算

Ⅰ 法人運営の状況

- 会員総数132人(団体)
○正会員 92人(団体)
○個人会員63人・団体会員29(団体)
○賛助会員40人(団体)
(個人会員34人・団体会員6(団体))

総会・理事会・運営委員会の開催及び会計監査の実施

- 総会(1回開催)
○理事会(3回開催)
○運営委員会(3回開催)
○会計監査(4回開催)

広報・啓発活動の実施

- 機関紙「Rainbow Net」の発行(2回/第30号・第31号)
○ホームページによる情報提供
○出前授業の実施(理解促進及び啓発事業)

Ⅱ 受託事業の実施状況

宮古地区地域生活支援事業等の実施(宮古圏域4市町村からの受託事業)

- 相談支援事業及び基幹相談支援センター事業
・年間の相談支援延べ件数14,367件※前年度13,026(件)
・宮古圏域障がい児・者相談支援連絡会議の開催

※コロナ感染拡大防止の観点から、参集形式ではなく各相談支援事業所を訪問し聞き取りを行った。

- ・基幹相談支援センター連絡会の開催(1月22日・Zoom開催)
○住宅入居等支援事業
・相談支援実人員110人(相談延べ件数

110件)

- 障害者虐待防止センター事業
・障がい者虐待防止研修会の実施
7月28日 救護施設松山荘 参加者16名
○地域活動支援センター型事業
・年間の延べ利用者数1,265人(※前年度2,401人)
・活動開催回数231回(※前年度305回)
「地活たより」を毎月150部発行

宮古圏域障がい者自立支援協議会の運営(宮古圏域4市町村からの受託事業)

- 宮古圏域障がい者自立支援協議会(親会)(3回開催)
○専門部会の開催
・実務担当者会議(8回開催)
・生活支援部会(5回開催)
・権利擁護部会(5回開催)
・精神保健部会(5回開催)
・発達支援部会(5回開催)
○専門部会委員長会議(1回開催)
○地域懇談会の開催(生活支援部会)
・田野畑村 11月11日 田野畑村立田野畑小学校 参加者29名
・山田町 未実施
・岩泉町 コロナ感染拡大防止の観点から、資料のみ配布
・宮古市 福祉体験教室に関わった市内中学校の先生や地域コーディネーターの方へアンケートを実施(報告は次年度予定)

農福連携(生活支援部会)

- リンゴ収穫体験in南澤果樹園 10月28日
参加者: 支援学校生徒、保護者、岩手県社協、宮古農業改良普及センター
内容: リンゴの玉返し、葉取り、収穫
○マルチ舗装アグリ事業部見学 2月3日
参加者: 支援学校、岩手県社協、宮古農業改良普及センター、宮古地区チャレンジ就業、生活支援センター
内容: 園床シタケ温室、パック詰め、乾燥
○セミナー・研修会等の開催
○そたちの相談会(発達支援部会)
・9月12日、10月24日 はあとこるセンターみやこ
内容: みちのく療育園小児科医の川村み

や子氏をお迎えし、お子さんの発達や子育てに関する悩み、不安、疑問等に対しての個別相談を実施
◇チャレンジプログラム(生活支援部会・精神保健部会)
・10月25日 イーストピアみやこ多目的ホール・会議室 参加者106名
内容: 社会的ひきこもり〜対話から生まれる支援のヒント〜
講師: 斎藤環氏(筑波大学医学医療系社会精神保健学教授)
◇圏域内GH支援者研修(精神保健部会)
・11月6日 イーストピアみやこ 参加者19名
内容: 圏域内GHの現状報告、意見交換会及び3力体操

右手県地域生活支援広域調整会議等事業の実施(宮古圏域からの受託事業)

- 地域委員会(4回開催)
○精神科病院等からの地域移行者5名
○精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの構築(精神保健部会)
・第1回 9月16日
内容: 精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの概要説明
・第2回 12月24日
内容: 気仙地域における精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムについて

Ⅲ 自主事業等の関係

- 高次脳機能障がい者支援事業
○家族教室の開催 6月26日 山口公民館 参加者13名
内容: タイ式ヨガ・ルーシータットン
講師: 佐藤和美氏
○圏域相談支援コーディネーターZoom会議 9月22日 出席者14名
○いわて脳損傷リハビリテーションZoom講習会 1月23日
内容: 講演「高次脳機能障がいのある方への支援とリハビリテーション」、当事者の対談等

サービス等利用計画の作成業務

- 契約作成件数674件
○計画作成件数453件
○モニタリング回数1,850回

- 障害支援区分認定調査の実施(県内各市町村からの受託事業)
○宮古圏域81件 ○宮古圏域外0件

【レインボーネット 令和2年度決算報告】

●活動計算書

Table with columns for 科目, 金額, 経常費用, 経常収益, 固定資産除却損, 当期経常増減額, 固定資産除却損, 当期正味財産増減額, 法人税・住民税及び事業税, 当期正味財産増減額, 前期繰越正味財産額, 次期繰越正味財産額.

●貸借対照表

Table with columns for 資産の部, 負債の部, 流動資産, 流動負債, 現金預金, 未払金, 未収金, 預り金, 前払費用, 未払法人税等, 立替金, 固定資産, 固定資産, 負債の部合計, 什器備品, 前期繰越正味財産額, 当期正味財産増減額, 正味財産合計, 資産の部合計, 負債及び正味財産合計.

令和3年度 事業計画・予算

NPO法人宮古圏域障がい福祉推進ネット（レインボーネット）では、障がいをお持ちの方の豊かな暮らしの実現に向けて、今年度も各種事業に取り組みます。

【重点項目】

- ◎計画相談支援等を推進するため、基幹相談支援センターとして地域の相談支援体制の連携強化に努めます。
- ◎障害者虐待防止法、障害者差別解消法などの趣旨を踏まえ、障がいの権利擁護の推進、普及啓発に努めます。
- ◎入所施設や精神科病院からの地域移行を推進するとともに、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に努めます。
- ◎障がいの生活を支える地域全体で支える体制を構築するため、自立支援協議会と連携し地域生活支援拠点整備の促進に努めます。
- ◎地域活動支援センター事業の充実を図るため、活動内容の見直しを行い、市町村や当事者のニーズに対応した取り組みの推進に努めます。

【Ⅰ 法人運営の関係】

- (1) 法人の公正中立で適正な運営に取り組みます。
 - ・総会（1回開催）
 - ・理事会（3回開催）
 - ・運営委員会（2回開催）
 - ・会計監査（4回実施）
- (2) 会員等に対する情報発信に取り組みます。
 - ・ホームページを活用した情報提供
 - ・機関紙「Rainbow Net」の発行（第32号、第33号）
 - ・地活だより、各種イベントチラシの配布

【Ⅱ 受託事業の関係】

- (1) 宮古圏域4市町村から委託された宮古地区地域生活支援事業等を適切に実施します。
 - ・基幹相談支援センター事業（相談支援事業、基幹相談支援センター等機能強化事業、住宅入居等支援事業、障がい者虐待防止センター事業）
 - ・地域活動支援センター事業（基礎的事業、機能強化事業）
- (2) 宮古圏域障がい者自立支援協議会の適正な運営に取り組みます。
 - ・圏域協議会、実務担当者会議、生活支援部会、権利擁護部会、精神

保健部会、発達支援部会の定例会の開催

※各部会において、研修会やセミナー及び地域懇談会を開催します。

(3) 岩手県から委託された岩手県地域生活支援広域調整会議等事業を適切に実施します。

- ・地域委員会の開催
- ・地域生活支援セミナーの開催

【Ⅲ 自主事業等の関係】

- (1) 高次脳機能障がい者支援事業
 - ・連絡会を開催します。
- (2) 計画相談支援、障害児相談支援、地域移行支援、地域定着支援、障害支援区分認定調査に取り組みます。
- (3) 障がい当事者・家族・関係機関・地域住民の親睦を深める事業
 - ・宮古圏域障がい者スポーツ交流会の開催
 - ・はあとふるフェスタ2021の開催
- (4) 障がい者の社会参加の促進・地域福祉の充実発展に寄与する事業
 - ・障がい当事者の創作活動の作品展示会等の開催
 - ・出前授業等の実施（圏域内の小・中・高校生等を対象に、障がい理解をテーマに市町村と連携し実施）
- (5) 各種ネットワークの拡充と連携強化に努めます。
 - ・障がい当事者団体等ネットワーク、障がい福祉サービス事業者連絡会との連携を強化します。

【令和3年度・活動予算書】

収益の部		(単位：千円)
科目	金額	
経常収益	受取会費	240
	受取寄附金	0
	受取助成金等	0
	事業収益	92,050
	宮古地区地域生活支援事業等	57,500
	相談支援事業	34,000
	認定調査事業	400
	地域生活支援広域調整会議等事業	150
	その他収益	20
経常収益計①	92,310	

費用の部		(単位：千円)
科目	金額	
経常費用	事業費	76,584
	人件費	48,823
	その他経費	27,761
	管理費	7,226
	人件費	3,663
	その他経費	3,563
	減価償却費	0
経常費用計②	83,810	
当期正味財産増減額③ = ① - ②	8,500	
前期繰越正味財産額④	32,422	
次期繰越正味財産額③ + ④	40,922	

はあとある Voice (当事者の声)

震災から十年、母と家を失った私 この十年

佐々木 るみ子 さん

失った物を思えば辛く長い日々だったように思う。

しかし、過ぎてしまえば「あッ」という間だったように思います。

大工だった父が建てた家を失い、私達を養ってくれた母を亡くし、悲嘆の時を送りましたが、今はそれを乗り越え、心の病を持つ私と身体障がいのある弟の二人、なんとか暮らしています。不満を言ったら罰があたりません。

あの津波の日、母は金庫を守ろうと首から鍵をぶら下げていました。私達のために最後まで戦っていたのです。頭が下がります。働き者の母でした。

「逆らった 親の背中が 超えられぬ」

私自身への反省と怒りのこもった一句です。

私の仕事は電子部品の加工、ポット加工と基盤分割です。

今は仕事に生き甲斐を見出し懸命に取り組んでいます。

この十年学んだ事は礼儀と挨拶の大切さのように思っています。

「ありがとう」「ご免なさい」「おはよう」

お世話になったら、「ありがとう」、失礼したら素直に「ご免なさい」が言える人になれたらと思っている事です。

私は今年還暦を迎えます。大好きな川柳の仲間が90歳で句会に参加しています。

「ユーモアは 呆けない為の エッセンス」

私も負けてはいられません。まだまだ未熟な私ですが、習び(学)の心を大切に、好奇心のアンテナを張り巡らして頑張りたいと思っています。五・七・五 たった十七音の中に幾通りものエピソードを詰め作句していけたらと思います。この十年を無駄にしないためにも。



新任職員紹介 よろしくお願ひします!

小成 祐介 さん

4月1日からレインボーネットでの仕事を始めています。前職は、約30年に渡り看護師として退院支援と断酒プログラムを主に担当をしていました。リハビリを考えた時、病院内での支援と地域支援の切れ目のない協働が不可欠です。そこで今回、地域支援に尽力したいと考えレインボーネットでの業務を選びました。今までとは違う職種での戸惑いもありますが、目的がぶれることなく精進したいと思います。どうぞ、よろしくお願ひします。

★社会福祉法人 若竹会
★宮古地区チャレンジ就業・生活支援センター
★多機能事業所 すきつぶ
NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネットワーク
★レインボーネット
★相談支援事業所 れいんぼーみやこ
★就業活動支援センターみやこ



櫛形 彩子 さん

ジョブカフェみやこで就業支援として働いておりましたが、この度、支援員として勤務することになりました。初の福祉の職場で右往左往しておりますが、「いつでも前向きに!」を意識し取り組んでおります。歳ばかり取った新人ですが、一日も早くレインボーネットの一員として機能していきたいと思ひます。関係機関の皆様のご助言、ご協力を頂きながら頑張りていきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

なんでも KEIJIBAN

令和3年度 地域懇談会・権利擁護セミナー (出張)

宮古圏域の各市町村を会場に、地域懇談会・権利擁護セミナー(出張)を開催いたします。

●日時・会場

◇岩泉町

日時：10月12日(火) 10時～12時

会場：町民会館

◇田野畑村

日時：11月予定

会場：アズビィ学習センター

●対象者：関係者、当事者、家族、興味がある方

●内容：権利擁護に関する寸劇DVD上映です。単身で生活している知的障がいのある男性が、判断能力の低下により金銭トラブルや悪徳商法などに巻き込まれます。家族や近隣住民に助けをもらいながら生活しますが、より安心した生活をするべく様々な制度を利用するという内容です。DVDの中で各制度の解説も行なっています。各市町村職員や事業所・病院職員の方々が演じているため、より身近に感じる内容となっております。

宮古圏域スキルアップセミナー

●日時：12月予定

●会場：イーストピアみやこ予定

●内容：障がい理解、障がいを持つ

家族のピア講話 障がい者BPOの未来を語る

●講師：株式会社ハラルポニー 松田 氏

●対象者：関係者、当事者、家族、興味がある方

宮古圏域障害者自立支援協議会研修会 発達支援セミナー・地域生活支援セミナー

●日時：10月24日(日)

●会場：イーストピアみやこ

●内容：事例検討、講演会



講師

筑波大学医学医療系 社会精神保健学 教授 齋藤 環 氏

●対象者：関係者、当事者、家族、興味がある方

お知らせ

記載しております各種セミナーは、新型コロナウイルスの感染状況に応じて延期もしくは中止となる場合がございます。あらかじめご了承くださいませようお願いします。

●問い合わせ先 レインボーネット事務局

TEL 0193-64-7878

FAX 0193-77-3921

レインボーネット文庫より

「コロナ禍」という言葉も当たり前になってきた今、知らず知らずのうちに気持ちが悪くなっているませんか？最近スマートフォンでの普及により、動画を観て癒しの時間を過ごすという方も多いと

思いますが、本を眺めるのもなかなか良いものです。ぜひレインボーネットの本棚にお立ち寄りください。病気の事や、元気になる方法など専門的な本の他に、犬や猫、ハムスター、そして力ピバラなど、動物の写真集があるんですよ。手に取ってほんやりと眺めるだけでも気持ちがフワッと軽くなってきますが、写真の一枚一枚をじっくり見るとフワフワの毛や、ピッカピカの瞳、躍動感のある動きを切り取った瞬間に、写真ならではの魅力に気が付くはずですよ。そして、ページをめくるたびに微笑んでいる自分にも気が付きます。ぜひ皆さんも、本で触れる動物の魅力や愛らしさで、気持ちをほんわかさせてみませんか？



編集後記

特集でもお伝えしましたが、新たに事務局長が就任され新職員も加わり体制一新のレインボーネットです。それでも、やることは同じ、障がいのある方々の豊かな暮らしの応援です。イベントなど依然制約はありますが、できる範囲を見極め実施できたらと思っています。コロナの早い終息を祈りながら。 [富屋 敦]

早くも梅雨入りが発表された今年、東北地方も早い梅雨入りが予想されています。そんな中梅雨は早く明けるとか？と期待しつつも調べてみましたが、残念ながらそうではないようです。住まいと気持ちのジメジメ対策をして長く続く予想される梅雨を快適に乗り切りましょう。 [天内]

気づけば今年に入ってから半年が経過してはいるんですね。半年を振り返るとスマホの写真を見返してみると、食べ物・猫・友達という何となく平和な写真ばかりでした(笑)。インスタ映えするような写真もないわけですが、平凡な生活が一番幸せなのではないでしょうか。残り半年笑って健康に過ごしましょう。 [田田]

【編者】

発行

発行 NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット(レインボーネット) 岩手県宮古市緑ヶ丘2番3号 はあとこふるセンターみやこCafe TEL 0193-64-7878 FAX 0193-77-3921 E-mail info@myako-rainbow.com URL http://www.myako-rainbow.com/

◆発行責任者 会長 川屋 裕之

◆企画・編集 レインボーネット事務局

かい いん ぼ しゅう
会員募集

かいいん しゅらい おんかいひ
会員の種類と年会費について

NPO法人
レインボーネットの活動を
応援して下さる方を
募集しています。

個人	正会員	1,000円
	賛助会員	500円
団体	正会員	5,000円
	賛助会員	1,000円